



# 稲田小だより

令和5年度学校だよりNo.5 令和5年9月号

回 覧



1年生が育てているアサガオがすくすく伸び、プール脇にアサガオのトンネルができました。天井まで届いた様子を喜ぶ1年生。ほほえましい1コマに出会い、思わず「カシャ」。

## 子どもの生きる力(レジリエンス)を高めるには…

校長 茂木 徹

2学期が始まって約1か月、ようやく朝晩涼しくなり、季節は秋に向かっていくことを感じます。これから、どの学年も11月の学習発表会に向けて取組を進める時期になりました。

そんな折、「子どもの生きる力(レジリエンス)を高める脳と言葉の使い方」という話を聞く機会を得ました。私たちは、日常生活の中で、子どもをはじめ多くの人と接し、コミュニケーションを図っています。その中には、ネガティブに感じることも少なくありません。人によっては、ネガティブな経験が増えると、生きづらさを感じ、落ち込んだり立ち直りに時間がかかったりします。そんなとき、「メンタルが弱いから…」とか「もともとネガティブな子だから…」と思うことはありませんか？そこに私たちの誤った思い込みがあるのだそうです。脳科学的な見地から見ると、落ち込みや立ち直りの遅さの背景に、「脳の使い方」「脳の思考法」の違いがあるそうです。幾つかの要因があるようですが、その一つに、大人の無意識の言動が子どもの行動に大きな影響を与えるとのこと。例えば、問題行動を起こすTくんに対して、次のような場合、皆さんならどちらの先生の対応を選択しますか？

- 【A先生】⇒ Tくんが問題行動を起こした。でも、Tくんは問題児ではない。  
⇒ Tくんは、未来に向けた可能性をもつ立派な人間である。  
⇒ 未来に向けた解決策をTくんとともに考え、目標を自己決定させる。
- 【B先生】⇒ Tくんが問題行動を起こした。だから、Tくんは問題児だ。  
⇒ Tくんは、問題児なので、それを改善させる必要がある。  
⇒ 問題行動を起こさないようにTくんにB先生の考えた行動をさせる。

私たちの脳は、無意識のうちに人から扱われたように自分を表現したり行動したりするそうです。もし、B先生のような「本音」をTくんに伝えれば、Tくんの脳はその想いを受け止め自分をネガティブに捉えてしまうでしょう。つまり、大切なことは、日常における私たち大人の思考法を再確認することです。そして、正解ではなく最適解を考え、可能性を信じた未来思考ができるかということだそうです。私自身どうだったか見つめ直す機会になりました。



浅草寺の本堂前

## 6年生修学旅行

新型コロナウイルスのため見合わせていた東京への修学旅行。今回4年ぶりに実現しました。

国会議事堂見学や江戸職人体験など、東京ならではの活動に子どもたちは目を輝かせて取り組んでいました。

### <主な旅行先及び活動>

- 国会議事堂、議員会館（昼食）
- 江戸職人弟子入り体験  
【江戸切子・江戸文字提灯・江戸とんぼ玉・食品サンプルから選択して実施】
- 小集団による班別活動  
【浅草寺・仲見世、スカイツリーソラマチ】
- キッザニア東京でのお仕事体験
- 月島でのもんじゃ焼き（昼食）



### 【今回の修学旅行のテーマ】

- (1) 職場見学や職場体験を通して、仕事に携わる方の仕事への思いや情熱、工夫や努力、働くために必要なことなどを学ぶ。
- (2) 相手のことを思いやり、自分が誰かのために行動したり、感謝の気持ちを伝えたりする。
- (3) 集団行動を通して、仲間とのふれあいを深め、約束やきまりを守って思い出に残る体験にする。

議員会館のエントランス



衆議院本会議場の傍聴席から



江戸切子（ガラス細工）体験



江戸文字 提灯 作り体験



食品サンプル作り体験



江戸とんぼ玉作り体験



東京スカイツリーと夜景



キッズニアでキャリア体験する子どもたち



【修学旅行を終えて ～6年Yさん～】

【修学旅行を終えて ～6年Tさん～】

○ぼくは、修学旅行に向けてめあてを立てました。1つ目は、働く人の仕事への思いを聞いてくることです。国会議事堂やキッズニアで話を聞いてみました。キッズニアのスタッフさんは、「あいさつが将来にとっても必要。」だと言っていました。それを聞いて、ぼくは、これからあいさつを頑張っていきたいと思いました。

2つ目は、いいことをしてくれた人には「ありがとう」などの言葉をかけることです。そこで、旅行中も、お店の人や利用する施設の方に対して、目を合わせて「ありがとうございます。」と言うようにしました。

3つ目は、分からないことがあったら自分から聞くようにすることです。2日間の活動中、分からないことがあったら、同じグループの人に「これどうすればいい？」と自分から聞くことができました。そのおかげでグループのみんなと協力し、思い出に残る活動ができ、とてもよかったと思っています。

○今回の修学旅行を通して、お店で働く人の様子から、ちょっとしたことでも気遣いがあることを見つけることができました。例えば、キッズニアでは、私たちが服を着替えるときに、着替えやすいように荷物をもってくれたりしました。相手のことを考えてくれているなと思いました。

旅行中に気付いたことから、どんな人にも感謝の気持ちを伝えることを心がけました。バスの方に「よろしくお願いします。」や「ありがとうございました。」と伝えたり、江戸職人体験やキッズニアの方、国会でお会いした人たち、もんじゃ焼きのお店の方にも感謝の気持ちを伝えることができました。

また、班別行動では、みんなの意見を聞き、計画的に行動したり時間をよく見て行動したりするようにしました。

修学旅行を通して、働いている人に接してみて、人間性が大切だなと感じることができました。

学校生活アラカルト



クリーニング会社 活動中！

学級の係活動の一環で廊下の壁をきれいにしています。(4年生)



稲田っ子班遊び！

昼休み、1～6年生の異年齢集団ごとに遊びを楽しんでいます。左は風船バレー、右はジェスチャーゲームです。



# 稲田っ子☆防災フェア PTA 会員交流部が企画！

## 9月9日（土）親子で防災体験！

9月1日は防災の日。地震や台風、水害などから身を守る方法や意識を高めることを目的に、全国で防災に関わる活動が行われています。稲田小学校でも、PTA 会員交流部の皆さんが、「稲田っ子☆防災フェア」と銘打ち、親子で楽しく防災について考えたり体験したりできる活動を実施してくださいました。当日は、上越消防署や社会福祉協議会の皆様をお招きして、AED 体験や消火器の使い方、車いす体験など、直接指導してもらえ、場となりました。当日は、スタッフ・役員も含め 70 人以上の方が参加する盛大なイベントとなりました。



防災  
関連

- 防災ボトル
- 防災グッズ

消防  
関連

- AED体験
- 煙体験 など
- 消火器体験

福祉  
関連

- 車いす体験
- 高齢者疑似体験

### 様々な活動を体験しました！



消防署の方から AED の使い方を聞きました



社会福祉協議会の手ほどきで車いす体験



防災ボトル作りに挑戦中！



# 学校駐車場のライン引き PTA “親路の会” の皆さん

## 8月27日（日）保育園側駐車場

昨年に引き続き、今年度も PTA “親路の会” の皆さんと職員で学校駐車場のライン引きをしました。今回は、保育園側にきれいなラインが引かれました。安全に駐車できるようになり、心から感謝します。ありがとうございました。



